

2025年フクシマ連帯キャラバン茨城行動報告書

全港湾 東北地方ひたち支部青年女性部

中言 勇希

R7年 3月13日～14日

Aコース

高萩市 日立市 東海村 ひたちなか市 水戸市

私は今回初めて茨城行動に参加させていただきました。その中でAコースの5件の市役所に訪問しました。特に印象に残ったことがありました。

(1). 一部の市町村は原発について軽んじている考えを持っているのではないか

東日本大震災や福島第一原発事故から14年も経っているというのにも関わらず、原発廃炉の策定もままならないまま長い時間が過ぎていきます。今では事業等の【復興、再生】が目に見えてわかりますが、また、同じようなことが近くで起きたら避難が遅れ多数の犠牲、経済の崩落が強いられることになると感じた。

(2). 避難計画策定済みの市町村は、実効性の根拠等が明確に記されていた

災害の避難、危険性を市民に伝える場を設け、いち早く避難や救助を行えるようにしていた。災害を体験したことがない人にも災害の恐ろしさを伝える重要性を強く感じた。

要請書を各市町村に伝え、様々な意見、方法があるのだと知ることができました。災害がどれほど恐ろしいことか改めて考えることができました。